

平成29年2月10日号（第170回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

立春とは名ばかりの寒さが続いています。インフルエンザの流行のピークは1月下旬から2月上旬と言われており、まだまだ注意が必要です。うがいや手洗い、また湿度を50～60%に保つことでウイルスが増殖しにくいそうです。適切な対策をして元気に春を迎えたいですね。



今回の阿伎留通信は、

－「6階西病棟のご紹介」－

をテーマに6階西病棟の廣田 登代子看護師長よりお話しさせていただきます。

6階西病棟は、平成19年7月に消化器内科病棟として開棟しました（ベッド数44床）。外科病棟とともに消化器病センターとしての位置付けのもと運営してきましたが、平成28年7月より、消化器内科と外科の病棟を統合し、6階西病棟は消化器を専門とする病棟へ病床編成されました。このように新たなスタートを切った6階西病棟についてご紹介致します。

6階西病棟の特徴

6階西病棟では、消化器内科と外科の医師が同じ病棟で患者様を診ることで、患者様が安心・安全かつ納得の得られる医療サービスを受けられるよう連携を取っています。消化器内科で術前検査をしたあとに手術のため外科で再入院となった際も、同じ病棟に入院することで、患者様にとっては慣れた環境で安心して手術前後の入院生活を送ることができます。

スタッフ紹介

消化器内科医師：4名

外科医師：4名

看護師：25名（看護師長1名、主任2名、認定看護師（皮膚・排泄ケア）1名含む）

看護補助者：5名



対象疾患

6階西病棟は消化器の治療を主とする病棟です。消化器系の良性腫瘍、悪性腫瘍、肝炎、膵炎、胆石、潰瘍性大腸炎の治療、大腸ポリープなどの内視鏡治療、胃、小腸、ヘルニア、胆のう、虫垂、大腸疾患の手術は、ほぼ半数以上で腹腔鏡手術を行っています。

療養環境

病床数 44床 個室（トイレ・シャワー付き）5室、無菌室1室 含む

ディールーム 浴室

当病棟は最上階の西側に位置しています。病室の大きな窓からは多摩の美しい山々を一望できます。四季によって山々が表情を変え、2月は雪景色、3月は梅が、4月は桜の美しい色が広がります。5月からの深緑は清々しい気分になり、秋はすばらしい紅葉が山々を包みます。朝焼けの紅葉は、見とれてしまうほどの絶景です。



患者様とご家族を大切にしたい思いやりの看護を目指し、スタッフ一同頑張っています！

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)